## 4.19法大-文科省人!

### 全学連(斎藤郁真委員長)書記局通信

### 2012年 3 月26日

Tel 050-3036-6464 mail\_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

# 3。25三里塚全国総決起集会1055名の大結集で打ち抜く!

#### 斎藤委員長の集会発言!

はじめに、亡くなられた鈴木謙 太郎さんの遺志を引き継ぎ、市東 さんの農地を死守し、第3誘導路 建設を粉砕し、三里塚闘争に勝利 する決意であることを表明します。 鈴木謙太郎さんの思いと人生に絶 対に応えていきます。

三里塚闘争が輝く時がやってき ました。世界大恐慌はますます深

まり、欧州帝国主義は自らが述べているように、「時間稼ぎ」のためだけに50兆円規模の財政投入をしなければならない状態になっています。

日本は帝国主義から脱落する情勢を前にして一層凶暴に利権にしがみつき、帝国主義的な政策を激しく進めようとしています。今やられている原発再稼動の攻撃はまさにその象徴です。しかし、あの3・11から1年。ついに福島現地から「原発いらない! 福島県民大集会」が、1万6千人の結集で大成功しました。政府の再稼働攻撃を打ち破った福島県民の思いは根底的です。6名の福島県民の発言は本当に感動的でした。高校生は、「人の命も守れないのに、電力とか経済とか言っている場合ではない」と述べ、農民の方は、「農業と原発は共存できない」と「核と人類は共存できない」と、この1年間の悔しさや悲しみや怒りすべてを集めて発言してました。この思いは、まさに帝国主義の政策と非和解であり、そのまま革命へ





と続く道です。福島、そして全世界で巻き起こるこういう怒りをすべて叩き潰すことによってしか帝国主義は延命できません。だから今、福島の怒りを守り抜いて発展できるかが問われています。福島の怒りはだからこそ、「命より金儲け」、そういう帝国主義の本質であるあらゆる政策を打ち砕く力をもっています。それは、沖縄の新基地建設であり、TPPであり、被災地でペテン的新基地建設であり、TPPであり、被災地でペテン的に、農民への切り捨て政策との攻防の最先端が市東さんの農地を守る闘いです。市東さんの農地を守る闘いです。絶対に市東さんの農地を死守しましょう!

そのうえで、私たちはあらゆる闘いに勝利しなくてはならないし、今福島がもっとも焦点になっています。福島でいかに、原子力村のふざけた政策を、自分たちの現場からひっくり返すことができるかどうかが問われています。被災地で闘う労働組合を復権し、学生自治会を復権することが本当に問われている。新自由主義と真っから闘ってきた法大闘争と福大の闘いを一つにして、私たちは4月19日に法大&文部科学省包囲行動を打ち抜きます。そして、5月沖縄闘争に総決起し、6月にもう一度福島大学闘争をやりたいと思っています。そして、同時でででいます。そので呼びかけられている反原発10万人でで大成功させ、労働者民衆のための社会をつくっていきたい。プロレタリア革命をやりぬく闘いをやりたい。

もう資本主義に未来はありません。みなさん! ともに 闘い、ともに生きていきましょう!





3月24日、日比谷野外音楽堂で「さよなら原発集会」を600人の大結集で打ち抜き、26日で「原発ゼロ」となる東電に対して「二度と再稼働するな」とデモを叩きつけた! 全学連もNA ZENと共に最先頭で決起!

#### 3・11に参加した学生の感想

先日郡山で行われた反原発の集会及びデモに参加して感じたことは、反原発の世論が大きくなっていることです。

集会には、会場である開成山球場の全席を埋め尽くすほどの人(主催者発表で1万6000人)が集まり、日本中の原発を止めたい、再稼動を阻止したいと望む人は確実に増えていると思いました。原発もその再稼動も、私たちの手で止められます。日本中の原発すべてをいつの日か停止させるという目標を持ち、これからも反原発の運動に携わっていきたいと思います。(福島大学2年)

## 

4月19日(木) 正午 法政大学市ヶ谷キャンパス 正門前集合

4月19日(木) 15時 経済産業省前テント集合 「20<sup>ミ</sup>」シーベルト基準」撤回を求める申し入れ書を提出します。 行動終了後の18~20時に屋内会場で総括集会を行います。



昨年10月21日、福大生とともに福大キャン パスで集会!